

環境省主催

平成 31 年度自然資源を活かす

エコツーリズム・インタープリテーションの

人材育成支援事業

《インバウンド研修 参加要項》

※当研修会は、（公社）日本環境教育フォーラム(JEEF)と一般社団法人日本エコツーリズム協会(JES)が、環境省より受託し実施します。

日程：2019年7月1日(月)～3日(水)

1. 研修会スケジュール.....	1
2. 食事・宿泊について.....	4
3. 保険について.....	4
4. 持ち物.....	5
5. 参加申込について.....	5
6. 懇親会について.....	5
7. 連絡先.....	5
8. 事前課題について.....	6

1. 研修会スケジュール

インバウンド研修の獲得目標

「インバウンドを受け入れるための準備が地域で始められるようになる」

上記獲得のための具体的なプログラムとしてこの研修では以下を行う

- ・ インバウンドの現地ガイドの実態を感じる（野外実習、野外実習まとめ・ふりかえり、講義1）
- ・ 外国人目線・特徴を学ぶ（野外実習まとめ・ふりかえり、講義3）
- ・ 外国人目線のプログラム作りの特徴を学び演習する（講義6、講義7、実習1、実習2、実習3、講義8）
- ・ 日本の自然の価値を学ぶ（講義1、講義2、講義4）
- ・ インバウンドのマーケティング、プロモーションの特徴を学ぶ（講義1、講義2、講義8）
- ・ インバウンドに特徴的なリスクマネジメントの観点を学ぶ（講義5、講義8）
- ・ インバウンドの受け入れを専門的に行っていない事業者でも、対応できるということを知る（講義4）

カリキュラム進行（予定）

1日目

	開始時刻	所要時間	内容	担当	場所
1	9:00	0:30	スタッフ集合	事務局	新宿御苑レクチャールーム
2	9:30	0:15	受付	事務局	
3	9:45	0:10	開会式／環境省挨拶	事務局	
4	9:55	0:15	オリエンテーション	ファシリテーター	
5	10:10	0:10	野外に移動		
6	10:20	0:35	野外実習：2グループに分かれて野外体験 （実際のインバウンドガイドを体験① 実際に外国人のお客様に対して行われるガイドの様子を見て、言葉のレベルや実際のやりとりを体感いただきます）	古屋さんG アクティビティ体験G（川嶋）	新宿御苑内
7	10:55	0:10	次の場面へ移動		
8	11:05	0:35	野外実習：2グループに分かれて野外体験 （実際のインバウンドガイドを体験② 体験プログラムでは、準備をすることで、言葉は最低限でも良いことを実感する）	同上	
9	11:40	0:10	レクチャールームに移動&休憩		移動
10	11:50	0:50	野外実習まとめ・ふりかえり	古屋純子+外国人ゲスト &ファシリテーター	新宿御苑レクチャールーム
11	12:40	0:45	昼食休憩（外国人を囲んで昼食）※お弁当は運営で注文します		1階食堂
12	13:25	1:00	講義1：外国人目線（受けること・受けないこと）について、プログラムの作り方、そのため の地域との関係作り（地域でインバウンドを受け入れる際に大切なこと等について	府川尚弘	新宿御苑レクチャールーム
13	14:25	0:15	PKT & QA	ファシリテーター	
14	14:40	0:10	休憩		
15	14:50	1:00	講義2：マーケティング、プロモーション、販売促進について	府川尚弘	
16	15:50	0:15	PKT & QA	ファシリテーター	
17	16:05	0:10	休憩		
18	16:15	1:30	講義3：国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャン ペーン、自然コンテンツの扱い）等	JNTO	
19	17:45	0:15	PKT & QA	ファシリテーター	
20	18:00	0:15	2日目以降の実習の手順説明	ファシリテーター	
21	18:15	0:20	ふりかえり	ファシリテーター	
22	18:35	0:05	事務連絡	ファシリテーター	
23	18:40	0:20	終了 → 情報交換会会場に移動		移動
24	19:00	2:00	情報交換会		魚屋一丁（予定）
25	21:00		終了		

2日目

	開始時刻	所要時間	内容	担当	場所
26	9:00	0:05	今日の流れの確認	ファシリテーター	西日暮里日能研ビル6階
27	9:05	0:05	チェックイン	ファシリテーター	
28	9:10	1:00	講義4：日本の価値を学ぶ-2 ・外国人に人気の動物・自然、外国人に刺さらない動物・自然など	横山隆一	
29	10:10	0:10	PKT & QA	ファシリテーター	
30	10:20	0:10	休憩		
31	10:30	0:45	講義5：インバウンドならではの「リスクマネジメント」	中尾謙吉、古屋絢子	
32	11:15	0:15	PKT & QA	ファシリテーター	
33	11:30	1:00	昼食休憩		
34	12:30	0:45	講義6：ツアープログラムづくりのスキームを学ぶ	古屋絢子	
35	13:15	0:10	PKT & QA	ファシリテーター	
36	13:25	0:10	休憩		
37	13:35	0:45	講義7：インバウンド対応の様々な工夫の紹介	古屋絢子	
38	14:20	0:10	PKT & QA	ファシリテーター	
39	14:30	0:10	休憩		
40	14:40	1:50	実習1： ・地域ごとに発表準備（40分） ・地域ごとに発表 （資源名・資源概要・外国の方に紹介したい・興味を持ってもらえと思った理由等） 講師よりコメント・アドバイス（各地域7.5分×8地域=60分）	ファシリテーター 古屋絢子 野口貴裕	
41	16:30	0:10	休憩		
42	16:40	1:30	実習2：プログラム作り（前半） 適宜講師やファシリテーターが相談を受けてアドバイスをを行います	ファシリテーター 古屋絢子 野口貴裕	
43	18:10	0:05	事務連絡	ファシリテーター	
44	18:15		終了		

3日目

	開始時刻	所要時間	内容	担当	場所
45	9:00	0:05	今日の流れの確認	ファシリテーター	西日暮里日能研ビル6階
46	9:05	1:30	講義4：外国人向けガイドの実際事例紹介（知床の事例紹介） 日本の価値を学ぶ-1 ・世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説	松田光輝	
47	10:35	0:10	PKT & QA	ファシリテーター	
48	10:45	0:10	休憩		
49	10:55	1:10	実習2：プログラム作り（後半） 適宜講師やファシリテーターが相談を受けてアドバイスをを行います	ファシリテーター 古屋絢子、松田光輝 野口貴裕	
50	12:05	1:00	昼食休憩		
51	13:05	1:30	実習3：作成したプログラムの発表 相互評価（フィードバック） 発表を受けての講師からのコメント	ファシリテーター 古屋絢子、松田光輝 野口貴裕	
52	14:35	0:10	休憩		
53	14:45	1:00	講義8：ランドオペレーター・インバウンドエージェントの視点から、「実際の商品がどのように作られ、プロモーションされ、お客様がやってくるのか」「どんなプログラムにニーズがあるか」や「実際に誰にどのように売り込めば良いか」、「インバウンドならではのリスクマネジメント」「地域に期待すること」など	野口貴裕	
54	15:45	0:10	PKT & QA	ファシリテーター	
55	15:55	0:10	休憩		
56	16:05	0:30	ふりかえり（記入、共有、アンケートも）	ファシリテーター	
57	18:35	0:10	閉講式&事務連絡	ファシリテーター	
58	16:45		解散（昨年の解散時刻16:40）		
		1:00	スタッフふりかえり		

※カリキュラム・時間については若干変更の可能性があります。

※都合により講師が変更になる場合もあります。ご了承ください。

研修会場へのアクセス・受付時間

1日目

【会場】新宿御苑 インフォメーションセンター内研修室（新宿門の入口横に併設の建物）

【住所】〒160-0014 東京都新宿区内藤町 11

【アクセス】

東京メトロ丸の内線	新宿御苑駅	徒歩 3分
東京メトロ副都心線 都営新宿線	新宿三丁目駅	徒歩 3分
J R	新宿駅南口	徒歩 10分

※新宿御苑へは、公共交通機関でお越しください。

【地図】



公式HP アクセス情報：<http://fng.or.jp/shinjuku/access/index.html>

受付時間 ※この時間に必ずお越しください。

7月1日(月) 9:30～9:45

2日目・3日目

日能研ビル 6階 研修室

【住所】〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 6階

【電話】03-5834-2897（日本環境教育フォーラム）

【集合時間】9：00 までにご着席願います。

【アクセス】

JR山手線 東京メトロ千代田線 西日暮里駅 道灌山出口より徒歩5分

※横断歩道をわたり、線路沿いの道からお越しください。

※会場へは公共交通機関でお越しください。

【地図】



2. 食事・宿泊について

昼食は3日間ともお弁当をご用意いたします（各日800円程度※ご不要の方は事務局までお申し出ください。当日現金で頂戴いたします。）

研修期間中の朝夕食・宿泊については各自にてご手配願います

※1日目夜に情報交換会を予定しております。「6. 情報交換会について」をご参照ください。

3. 保険について

集合研修期間中、傷害保険に加入していただきます。

保険料：お一人様あたり300円（3日間合計）

※上記「保険料」は1日目受付にて現金精算させていただきます。

4. 持ち物

- 筆記用具
- 保険証
- 各自、宿泊に必要なもの
- 交通・宿泊等に必要な現金
- ペットボトルや水筒などの飲みもの（必要に応じて）
- 現金
- 雨具等（1日目は新宿御苑内にて簡単な野外活動があります）

5. 参加申込について

別添①の参加申込書にご記入の上、7.連絡先までメールまたはFAXでお知らせください。

締切：2019年6月10日(月) 必着

8. 事前課題についても、同時に提出ください。

6. 情報交換会について

1日目の終了後に情報交換会を予定しています。（参加自由）

会場：うおや一丁 新宿三光町店（予定・新宿御苑会場すぐ近く）

<https://r.gnavi.co.jp/e030304/>

会費 おひとりさま 4,000円程度を想定（当日懇親会にて徴収いたします。）

ご参加をご希望の方は、別添①の「講習会参加申込書」にてお知らせください。

7. 連絡先

一般社団法人日本エコツーリズム協会 担当：坪根

〈電話〉 03-5437-3080 〈FAX〉 03-5437-3081

〈メール〉 tsubone@ecotourism.gr.jp

研修会当日の緊急連絡先

090-4956-4794（JES事務局携帯）

8. 事前課題について

研修内で、講師のアドバイス等を交えながらワークショップ形式で、各地域の資源を活かした、外国人観光客向けツアープログラム作成の実習を行います。

各地域の皆様には、実習で活用する資料をあらかじめご準備いただきます。

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」について、3つ程度の資源を選定し、別添②のシートにまとめてください。

地域内でご検討の上、【6月26日（水）】までにご提出ください。

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」シート

地域名 中山道 三留野 かぶと観音

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>かぶと観音</p>
<p>資源の概要</p>	<p>江戸時代中期（貞享・元禄期）の建物で、木曾郡内のお堂では最古級である。 平安時代末期に活躍した武将 木曾義仲が北陸に出兵の際、戦勝を祈願し、兜の中に納めていた十一面観音を祀ったお堂として、古くから人々に信仰されている。 石の十一面観音菩薩像は兜を抱え、その伝説を象徴している。 境内には義仲の腰掛石や巴御前の袖振りの松などもある。 なお、同じ敷地内には神社もある。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとつの敷地内に神道の神社と仏教の寺院が共存する事例は、海外の方にはとても珍しく感じられるから。 ◆女性的で優美な造形の観音菩薩が兜を持っていることが珍しいから。 ◆かぶと観音にまつわる、木曾義仲の伝説を紹介することで、侍の文化や宗教の話題にも展開できるから。
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p>http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/midokoro/nagitsuma/midokoro_17.html https://ameblo.jp/kisomeisui/entry-10453882480.html</p>

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 八王子市 高尾山

資源の写真	
資源の名称	高尾山の修験道
資源の概要	<p>高尾山は、真言宗智山派の大本山である「高尾山薬王院有喜寺」を中心とする山岳信仰の霊山として、江戸時代から広く信仰を集めてきました。</p> <p>修験道の舞台となった山道は、暖帯系の常緑広葉樹林と温帯系の落葉広葉樹林の境目にあたり、とりわけ草木や鳥の種類が豊富です。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」</p> <p>「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>「修験道」の歴史的な背景、山岳信仰の根本道場としての寺社仏閣、山伏と天狗伝説等のガイディングやトレッキングなどの自然体験を通して、日本の自然と文化の関わりをお伝えすることができると思いました。</p> <p>また、修行という行為は、海外においても認知度が高く、また興味を喚起しやすいと考えました。</p> <p>また、訪日外国人にアピールできる点として、日本の生物多様性のひとつの例として、その植生と生態系の豊かさの縮図を手軽に体感でき、かつ都心からのアクセスも容易であるため、大都市「T O K Y O」の違った側面をお楽しみいただけるものと思います。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等</p> <p>(参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p>http://takaosan.or.jp/taiken/hiwatari.html</p> <p>https://mttakaomagazine.com/outline</p>

外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 ○○町

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>田園風景と稲作体験</p>
<p>資源の概要</p>	<p>ごく普通の田んぼですが、ファミリー層をターゲットとした農業体験や自然観察のフィールドとして活用がされています。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>米を主食としない国の方々にとっては、稲作文化自体が珍しいものであると考えられます。</p> <p>我々日本人にはなじみの深い「田園風景」も水の豊かな日本であるからこそできる農業形態の一つであり、ある一定の層の外国人には興味を喚起する資源の一つではないかと思います。</p> <p>大陸から日本列島に稲作が伝わった歴史から、日本人がコメを育てる文化を通して、自然とどのように共存してきたかという大きな視点での解説を通して、知的好奇心が旺盛な層にとっても興味深いツアーが提供できると考えます。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p>https://tokyo-satoyama.jp/activity/#craft</p>

別添②

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート①

地域名 _____

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

別添②

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート②

地域名 _____

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

別添②

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート③

地域名 _____

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	